

2017年度 日本建築学会東海支部研究集会

発表者 各位

PC用プロジェクタを用いた発表に関する注意事項

論文発表者は、各発表会場に設置されたPC用プロジェクタを使用することができます。OHPは準備しておりません。PC用プロジェクタの利用にあたりまして、下記に注意事項を記しましたのでご参照ください。

1. 発表者が用意するもの

①プレゼンテーション用のファイルを保存したPC

CDやUSBメモリーなどの記憶メディアのみ持参されても、プロジェクタでの発表はできません。また事務局では発表用のPCを準備していません。

2. 会場設置機器

発表のために会場で用意する機器は以下の通りです。

①PC用プロジェクタとスクリーン

②PC接続ケーブル 接続端子はミニD-Sub 15pin (オス)

MacPCやHDMIなど異種端子しかないパソコンをお持ちの方は、必ず接続アダプタをご用意ください。

③プロジェクタ接続切替器 (2回路切替)

④電源タップ (PCの電源アダプタ用)

⑤指示棒またはレーザーポインタ

各自でレーザーポインタ等をご持参頂いても結構です。



3. 発表方法について

①PCとプロジェクタの接続のために、2回路の切替器と一般的なPC用の接続ケーブルを用意しています。発表者は、事前にプロジェクタの接続テストを行ってください。セッションの間には時間の余裕がほとんどありませんので、朝あるいは昼休みなどをお願いします。

②前の発表の間に前方の「次講演者席」に着席し、切替器の空いている側のケーブルにPCを接続して、PCを起動した状態で待機してください。ACアダプタ用のタップは準備されています。

③発表時には、講演卓に移動し、切替器を操作して開始してください。これらの操作も発表時間に含まれます。また終了後は速やかに次の発表者と交代してください。

④正常に接続・投影できない場合でも、原則そのまま口頭で発表を行っていただきます。ただし、状況により司会の判断で対応措置がとられることがあります。プロジェクタや切替機の利用に問題が生じて、事務局では一切の責任を負いませんのでご承知おきください。

⑤連続講演など同じ研究グループの発表が続く場合は、なるべく一台のPCにプレゼンテーション用のファイルをご準備いただき、接続の切替が少なくなるようご協力ください。

以上